

2019 年度学校関係者評価

全体評価 【A】

各評価項目の 評価と委員のコメント（I 教会司祭 T 園児保護者 F 地域住民 Y 教会信徒 D 講師）

① 互いの思いや考えを思いやりのあることばで伝え合い、協同して遊びを発展させる喜びを体験させる。

I : 【A】 子どもたちが自分の考えを持ち、自分の意見を述べるができるように、先生方が工夫をして指導している。おとなの言葉やテレビの影響で乱暴な言葉のまねをしがちな子どもたちに、言われた相手の気持ちを考えさせているのは素晴らしい。

T : 【A】 非常にきめ細かに、気持ちをコントロールするような教育がされている。

F : 【A】 皆で友だちを信じて待つ姿をおゆうぎ会のオペレッタを通して見た。「個性を認め合う」ということが実体験として子どもたちに根付いていることを感じた。

Y : 【A】 子どもたちは良いやさしい言葉をつかっている。

D : 【A】 先生たちは楽しい言葉を工夫して子どもたちを遊びに誘っている。

② わがままやつまずきを乗り越え自分の気持ちを調整する力をつけさせる。

I : 【A】 子どもが自分で解決して行けるよう助け、少しでもできた時に励ますことをよくやっている。

T : 【A】 運動会の、雨という困難さを忍耐強く乗り越える姿に成長がみられた。

F : 【A】

Y : 【A】 反抗期と重なる指導は大変だと思う。

D : 【A】 子どもは他の子どもをととても良く受け入れている。

③ 様々な食物を知り、皆で食事を味わう事を楽しめるようにする。

I : 【A】 一緒に食事をする楽しさはぜひ味わってほしい。英語で食べ物の名前を言い合ったりするなどの工夫も楽しくしている。苦手な野菜を調理する体験も役立つであろう。

F : 【A】

T : 【A】 自分の好みのものだけではない給食と、家庭のぬくもりの弁当のバランスがよい。

Y : 【A】

D : 【A】。

④ 読み聞かせに集中させ、子どもたちの自由な発想を受けとめるようにする。

I : 【A】 絵本は選び方が大切。年長に古典の物語を読み聞かせるのは歴史やさまざまな文化に触れる機会となり後の学習により影響がある。

T : 【A】 古典や童話に自然体で触れさせて素晴らしい。

F : 【A】

Y : [A]

D : [A] 帰りの前の読み聞かせが習慣となっている。また、昼食後には自由に絵本を選んで読ませているのは良いことである。

⑤ 子どもの思いや成長をできるだけ頻繁に伝え、保護者の気持ちを受け止め、信頼を深める。

I : [A] よくやっている。保護者の安心につながる伝達をしている。

T : [A]

F : [A]

Y : [A] 園バスを導入しない利点がある。親同士のコミュニケーションも円滑である。

D : [A] 健康上の小さな変化もその日のうちに、きめ細かく伝え合っている。

全体評価のコメントは全員Aと判定し、コメントを述べた。

I : 英語の取組を通して異なる文化の人が存在することの認識を持ち、互いに助け合う事を幼い頃から学んでいるのは良いことである。

F : 個性を認め大切にしよう園であることで、ほんとうに守るべき大事なものは何かをこれからも地域に広めて欲しい。

Y : 言葉の使い方が難しい今日だが、この園の子どもたちは優しい言葉を使っている。

2019年度学校関係者評価委員会の開催日： 2019年5月22日、12月7日、2021年2月8日

12月7日には職員による自己評価を当委員会で発表し、評価の参考とした。

1月の三重大大学の教授と学生の見学、本格的に始動したJoy in Englishのプロジェクトをもって園全体が楽しく英語に取り組んでいること、職員の浜田小学校の授業、給食の見学研修も評価された。

2019年度学校評価目標自己評価 12月7日

① 互いの思いや考えを、思いやりのあることばで伝え合い、協同して遊びを発展させる喜びを体験させる。

【年少】 遊びに入りたいが「いれて。」と言えない子には付き添って一緒に「いれて。」と言ったり、手本としてやって見せたりして、「いいよ。」とほかの子が反応するのを体験させた。友だちに対するきつい言い方には相手がどう思うかを考えさせた。遊びは、戦いごっこからチームに分かれる鬼ごっこに、ルールを決めて発展させた。また砂遊びでクッキーなどを作り、どんぐりや落ち葉を使う工夫が見える。

「いれて。」や「いっしょにあそぼ。」が自分で言えること、相手に合わせ、自らの感情に折り合いをつけることができるように3学期は導きたい。自己評価 B

【年中】 戦いごっこ—お面作り—武器も作りたい、と発展し、ティッシュペーパーの空き箱を渡すと子どもたちからいろいろなアイデアが浮かんだ。絵を描く材料を実験、試行錯誤して武器が完成し

た。他にもクッキー屋さん、縄跳び、トロトロの泥を小枝につけるポッキー屋さんの共同遊びが広がっている。

苦手意識を持つ子、自分から遊びに入りづらい子に興味をもたせるようなサポートをしていきたい。

自己評価 C

【年長】 お面やさんの共同遊びが発展。クラスで、「看板を作ろう。」「お祭りみたいに飾って売ろう。」「ゆりさん、ばらさんの喜ぶものは何か。」など意見を出し合い、子どもたちのアイデアを受け止めて形にするように援助した。行事の準備などで自由遊びの時間が十分に確保できていないのが残念である。 自己評価 B

*おめんやさんには、どのクラスとも関わろうとする雰囲気があつて園全体の共同遊びとなっている。

*園庭のどの部分の土が何（クッキー、プリン、ケーキなど）に向いているか、伝え合い伝統になっている。

② わがままやつまずきを乗り越え、自分の気持ちを調整する力をつけさせる。

【年少】 並び順で一番になれず泣いた子に言葉を掛け、自分で気持ちを整えて後ろに並びなおせるようにした。自分でできることを「できない。」という子の声を掛けて、最後までやり切った時に誉めて自信に繋げた。 自己評価 B

【年中】 走るのが苦手でわざと負けてしまったりかけっこを嫌がったりしていた子に、保護者の協力や他の教師の声掛けも得て次第に皆と一緒に走る楽しさを体験させ、自信をつけることができた。折り紙では、できない時に泣いていた子に言葉で援助を求めるようにさせ、がんばりを援助し、自分でやろうとする意欲が見えるようになってきた。 自己評価 B

【年長】 転入児で英語のレッスンになると口を閉ざしてしまう女兒に英語の先生と一緒に寄り添い、5回目のレッスンから発言するようになった。マーチングでは一人ひとりの課題の克服のため個人練習を行い、本人が自信を持って参加できるように援助した。 自己評価 B

③ ささまざまな食物を知り、皆で食事を味わうことを楽しめるようにする。

【年少】 飲み込みができない子の指導に行き詰ったが、お弁当で同じものが入っている子を知らせたり、給食では友だちがおいしいと言っていることを伝えたり、英語で材料名を聞きあったりして楽しんでいる。 自己評価 B

【年中】 苦手なものがある子、食事に興味がわからない子をどう導くかが難しいが、全体では給食の蓋を開けた瞬間に喜びの声が上がるので、好きな食べ物を聞いて楽しい雰囲気を作るようにしている。 自己評価 B

【年長】 小学生の給食を見据えて、時間（30分以内）を意識して食べるようにしているが、たいへ

ん時間のかかる子もいる。年少時の時どのように食べていたかを話して成長を確かめ合っている。自己評価 **B**

*2 歳児のトトロルームでは、親子の調理から家庭の食事情、好き嫌い、離乳食などが分かるので、アドバイスをし、入園までの準備に繋がるとよいと思う。

④読み聞かせに集中させ、子どもたちの自由な発想をうけとめるようにする。

【年少】 季節や行事に関連した絵本のほか、興味が出たおぼけや天気の話材をその都度取り上げて読んだ。3 学期はもっと多くの本を読みたい。自己評価 **B**

【年中】 登場人物に興味を持たせたり、気持ちを考える時間を作って話し合ったりしてそれぞれの子の思いを大切にしたい。心を落ち着かせて絵本に向かうこと、友だちといっしょに読む楽しさ両方を伝えていきたい。自己評価 **C**

【年長】 季節や行事に合うお話を選び子どもたちの声を聞いて面白さや悲しさの感情を共有するようにした。古典的なお話を知らない子がいるので、童話や日本の昔話も読んでいきたい。自己評価 **B**

*トトロルームや1 歳児のなかよしマンデーでも読み聞かせを必ず入れている。

⑤子どもの思いや成長をできるだけ頻繁に伝え、保護者の気持ちを受け止め、信頼を深める。

【年少】 英語に意欲的に取り組む子どもの姿を伝えて、成長を喜んでもらった。自己評価 **B**

【年中】 朝、泣いて登園する子の様子を面談でお母さんと話し合ったことで、保護者との情報・意見の共有が可能となってきた。自己評価 **B**

【年長】 お友だちとのトラブルについて保護者からの相談を受け、様子を頻繁に伝え合い観察、指導を続けたことで信頼ができた。自己評価 **C**

日常の英語 Joy in English の取り組みについて

【年少】 楽しんでいる。英語・日本語の違いに興味を持ち、「～って英語で何？」と頻繁に質問が出る。子ども自身が英語で答えられたときに自信がついていっている。

【年中】 1 学期は恥ずかしがる子が多かったが、毎日続け英語で会話できた嬉しさや新しい単語を知る楽しさを味わううちに、子どもたちからもっと知りたい、もっと話したいと求める姿勢が育った。教師自身も英語が「難しい」から「楽しい」にイメージが変わり多様なコミュニケーションや発見が得られた。

【年長】 恥ずかしさや間違えの心配があっても日常的に使う事はなかなか難しい様子だが、楽しさを伝えていきたい。歌は好きなので CD をかけるだけで、覚えて歌う姿が見られる。